

－ 新生児集中ケア認定看護師の役割と活動 －

新生児集中ケア認定看護師は、日本看護協会が認定する認定看護師の領域の一つで、主に新生児集中治療室（以下NICU）で活動しています。NICUとは予定日より早く生まれた赤ちゃん（早産児）や体重が小さく生まれた赤ちゃん（低出生体重児）、または何らかの疾患のある赤ちゃんに高度な治療を提供する場所です。新生児医療は単なる救命を担うだけでなく、はじめは小さかったけれども大人になるに従って実社会に羽ばたいてほしい、そんな子どもたちの未来を見据えた医療であり「後遺症なき生存（インタクトサバイバル）」を目指しています。

新生児集中ケア認定看護師は、NICUに入室する赤ちゃんたちに対して、次にあげる4つのケアを大切に考え活動しています。

- ① 早期に呼吸や循環を整えるケアや感染予防、体温管理等の提供（生理学的安定化を助けるケア）
 - ② 赤ちゃん自身が持つ力を最大限に発揮できる最良の環境を提供し、身体的・神経学的な発達を助けるケアを医師や多職種とともに（ディベロップメンタルケア）
 - ③ 「NICUに入院している新生児の痛みのケアガイドライン」に沿って非薬理的疼痛緩和ケアを行う（痛みを緩和するためのケア）
 - ④ NICUという特殊な環境で育児をはじめ家族の不安や思いに寄り添い、生後早期から赤ちゃんや家族の触れ合いを大切に、一緒に住めるまでの過程を支えていく（ファミリーセントードケア）
- そのためにNICUでは、家族も居心地よく過ごせる環境づくりにも力を入れています。



部署外の活動としては、どこで赤ちゃんが生まれても、出生時に正しく蘇生されることを目的に新生児蘇生法（NCPR）のインストラクターとして専門コースやスキルアップコースを開催し、ライセンス獲得への支援を行っています。また、助産師を志す学生のライセンス獲得も支援しています。

最後に、私が大切にしている「新生児学入門」という本は恩師に頂いたものですが、扉部分のサインとともに「新生児には夢があります」と書いてあります。頂いた当初はその言葉の重みを理解できませんでした。認定看護師となり赤ちゃんを知れば知るほどこの分野の奥深さ、そして赤ちゃんと共に成長できる夢のある仕事であることを今は実感しています。私もまだまだ学びの途中ではありますが、同僚の看護師たちと共に新生児看護の学びをもっと深め、「夢」に向かって今のチームを育てていきたいと思っています。そんな仲間が、今後の新生児看護の発展を支えてくれるものと、信じてやみません。